

2026年度「神戸シミュレーションステップアップセミナー」 企画・運営業務委託仕様書

1 募集概要

公益財団法人 計算科学振興財団（FOCUS。以下「財団」という）では、財団が保有する産業利用向けスーパーコンピュータ「FOCUS スパコン」を活用し、企業の技術高度化支援、実践的な企業技術者の人材育成を行い、企業内コンピュータを利用したシミュレーションから FOCUS スパコンを活用した高度なシミュレーションへのステップアップ支援を目的に、公募したソフトウェアベンダーと連携してセミナーを実施する。

2 募集対象事業者

FOCUS スパコンシステムで動作検証済アプリケーションのライセンス提供を自ら行い、サポートを行っている実績のあるソフトウェアベンダーであること。なお、FOCUS スパコン利用のセミナー企画に際しては、採択事業者は FOCUS スパコン ISV アカウントの取得が必要である。以下のホームページ「ISV 事業者用アカウント申請書類」を参照のこと（アカウント発行手数料：無償）。

<https://www.j-focus.or.jp/focus/documents.html>

3 委託期間

- ・契約締結の日から 2027 年 2 月 26 日まで

4 募集開催回数

- ・複数事業者の採用を前提に、全 10 回程度のセミナー開催を募集する。
- ・1 事業者あたりの開催回数は 3 回以内とする。
※申込者多数の場合は開催回数を調整する場合がある。
- ・会場受講のみではなくオンライン受講も併用できることが望ましい。
（オンライン開催のみも可。また講義、実習ともに会場／オンラインの混在等の形態も可）

5 業務委託内容

- (1) 神戸シミュレーションステップアップセミナーの企画・参加者募集・運営に関する全ての業務に関すること（PR からインターネットを利用した募集受付に関すること）

参加者募集の Web サイト申込画面には下記の申込者情報を入力できるようにするとともに、申込者情報は財団と共有すること。また、申込状況は随時財団と共有すること。

【申込者情報】

氏名、所属機関・部門名、所属機関住所、電話番号、メールアドレス、受講理由、FOCUS スパコン利用または予定の有無、本セミナーをどこで知ったのか

セミナーの準備や FOCUS スパコンの利用など、財団との技術的事項を含む実務調整を行うこと

- (2) 開催当日の受付、セミナーの進行に関すること
- (3) 自社アプリケーションを利用した解析事例の紹介
- (4) FOCUS スパコンまたはパソコンを利用した自社アプリケーションの体験実習、または講師によるデモンストレーション（実習運営に必要な範囲で、FOCUS スパコンの無償利用が可能）
- (5) FOCUS スパコン概要説明を含め、神戸の特色を生かしたセミナー企画・運営

- (6) 可能であればセミナー開催プログラムの一環での意見交換セッションの設定（オンラインも可）
- (7) アンケートを財団と事前に調整した項目、内容、方法で実施のこと。オンライン実施も可。
- (8) セミナー終了後 10 日以内に、セミナー資料・参加者一覧・アンケート、セミナーの様子がわかる写真（オンサイト開催の場合）を財団へ提出すること。

6 開催概要

(1) セミナー開催日について

契約締結日以降～2027 年 2 月 26 日（金）の間に開催すること。

ただし財団の休業日は除くこと。

(2) セミナー会場について

①オンサイトの場合

公益財団法人 計算科学振興財団（FOCUS） 実習室、セミナー室にて行うこと。

（住所：神戸市中央区港島南町 7-1-28 計算科学センタービル 2F）

各施設の概要は、以下のとおりである。

- ・実習室（大） 定員 20 名（講師用 PC 端末 1 台および受講者用 PC 端末 20 台）
- ・実習室（小） 定員 12 名（6 名用を 2 室連結利用の場合）（講師用 PC 端末 2 台および受講者用 PC 端末 12 台）

【実習室】 <https://www.j-focus.or.jp/center/training.html>

【セミナー室】 <https://www.j-focus.or.jp/center/seminar.html>

なお、FOCUS 施設（実習室、セミナー室）を利用する企画の場合には、開催日の決定に際し、実習室・セミナー室の空き状況を参考にした上で、事前に必ず財団と調整すること。

施設の空き状況確認に関する詳細は、採択事業者に別途、通知する。

また、各施設は、セミナー運営に必要な範囲で、無料で利用可能とする。

②オンラインの場合

財団実習室やセミナー室からの発信、または、財団実習室、セミナー室以外の「自社もしくは自社が借り上げた会場」からの発信により行うこと（その場合の Wi-Fi 環境、オンライン配信機器・ソフトウェア等のインフラは受託者の責任において整備すること）。

4 に記載のとおりオンサイトおよびオンラインの併用等も可とするが、オンサイト開催の場合には財団実習室、セミナー室を利用すること。

（注）セミナー会場の実習端末環境の準備等（ソフトウェアのインストールや動作確認等）は、財団の指示に従い行うこと。

(3) セミナー運営に関する FOCUS 機器の利用

FOCUS 設置のスーパーコンピュータ等の機器への事業者および受講者によるアクセスにおいては、システムおよびアカウントの利用に関する各規程等を遵守のこと。

<https://www.j-focus.or.jp/focus/documents.html> を参照

(4) セミナー参加者の費用について

セミナーへの参加費は無料とすること。

7 主催

公益財団法人計算科学振興財団（FOCUS）

8 業務委託料について

開催 1 回につき 30 万円（税込 33 万円）を支払うものとする。但し、開催上限の 1 事業者あたり

3回分である90万円(税込99万円)を上限とする。受託額の請求については、5(9)の提出資料を財団が受理した後に行うこと。なお、当該業務委託は参加者募集を含めたものであり、参加申込状況の不調(申込受付締切後の参加キャンセルやセミナー当日の急な不参加を含む)により非開催となった回が生じた場合、理由の如何に関わらずその回の業務委託料の支払は行わない。

9 受託者の決定方法(プロポーザル)

この仕様書に基づき、10に記載の「企画提案書」を提出すること。11に記載の審査方法により審査を行う。

10 応募手続き

応募書類の提出について

(1) 企画提案書

応募事業者の強み(内容、企画力、セミナー実績等)を明示の上、下記の項目を必ず盛り込み、わかりやすく簡潔に作成すること(様式任意)。

- ・セミナー講習会の内容
- ・予定開催回数(3回を上限とした希望開催分)と開催予定月
- ・FOCUSスパコンシステム動作検証済アプリケーション名
- ・過去における神戸でのセミナー実績等
- ・オンラインでのセミナー運営への取組実績または提案
- ・講習会開催に関する広報手段(財団が実施する広報とは別に、事業者独自による広報も行うこと)

(2) 応募事業者の組織・活動概要がわかる資料(会社概要、パンフレット等)

(1)(2)の書類を期限までに下記提出先へ電子メールにて提出すること。なお、同一団体で複数の企画提案書の提出はできないものとする。

①提出期限:2026年6月26日(金)17時 必着

②提出先:jinzai@j-focus.or.jp

(※件名は、「神戸シミュレーションステップアップセミナー・プロポーザル」とすること)

(担当)〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-28

公益財団法人 計算科学振興財団 人材開発グループ 由田(よしだ)、眞鍋

11 審査方法等

財団は、提出された企画提案書等を基にした総合評価により受託者を決定のうえ、速やかに採否の結果を通知する。

評価基準

企画提案書の下記項目を重視し評価する。

- (1) 応募者の受託適性、セミナーの提案内容の有効性(セミナーの趣旨に準じた内容となっているかなど)
- (2) セミナーの企画力(オンライン講習を含む)

12 委託契約の締結

- ・財団指示にもとづき、必要があれば企画提案内容の修正・再提出の上、委託契約を締結する。
- ・委託契約の締結にあたっては、財団の会計規程、様式によることとする。

13 個人情報等取扱いについて

申込時に提示された個人情報は、以下に基づいて扱うものとする。

<https://www.j-focus.or.jp/privacy.html>

14 その他

- (1) 提出書類等の作成経費については、全て応募者の負担とする。
- (2) 実際の業務運営の詳細に関しては、財団職員と協議し、その指示に従うこと。
- (3) 本仕様書に定めのない事項については、別途財団および受託者の協議によるものとする。
- (4) 本件に関する問合せは、電子メールにて行うこと。なお、問合せ先は10(2)②と同じ。